令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	岩手県八幡平市
間接助成団体	総合型地域クラブわくわく八幡平
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業
事業名①	八幡平市総合型地域スポーツクラブ自立支援事業
助成金額①	1,648,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
事業名②	八幡平市総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
助成金額②	1,555,000 円

■調査内容

令和６年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（自立支援事業／クラブマネジャー設置支援事業）で岩手県八幡平市の間接助成団体である「総合型地域クラブわくわく八幡平」が行っている「八幡平市総合型地域スポーツクラブ自立支援事業／クラブマネジャー設置事業」の実施状況について調査を行いました。

わくわく八幡平は約２年間の創設準備期間を経て、令和５年度に設立されました。現在は、準備期間に人気があった７種目（リズムダンス、バドミントン、ピラティス、ヨガ等）の教室を定期開催しています。会員数については、クラブ設立から順調に増加し、調査時点では 70 名程の会員がおり、約７割が小学生または 40 代以上の女性でした。

活動場所は市内のコミュニティセンターであり、会場までの主なアクセス方法は車であるため、自分で車を運転できる方や保護者が送迎を行える方が主な参加者となる特徴があります。調査当日は八幡平市とクラブから活動状況についてヒアリングを行い、その後、小学生とその親子が参加するバドミントン教室を視察しました。八幡平市内の中学校・高等学校にはバドミントン部がないということもあり、小学校卒業以降もクラブの教室に通いたいという声があるそうです。

■助成の意義

クラブ創設の準備段階から継続的にくじ助成を受け、指導者への謝金などクラブの活動費に充てることで、より多くの方が多様なスポーツに触れる機会となる教室の定期開催が可能となり、会員の満足度向上に繋がっているそうです。また、チラシ等の印刷物を配布することで会員数の増加やクラブ認知度が向上しているとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

体験会の開催においては、クラブ単体で行うもの以外にも、地域のスポーツ少年団と合同で実施することで単に参加人数を増やすだけではなく、子どもたちが様々なスポーツに触れる機会を作る工夫をされているそうです。また、スポーツに限らず、近隣の駅で開催されるマルシェに出店したり、映画鑑賞会などのイベントや文化的な活動も行うことで、クラブの PR に努めている

とのことです。

　これらのイベントの周知やクラブ活動の広報にあたっては、市内の小学生全生徒へのチラシ配布、市の回覧板の活用や市のホームページでのクラブ紹介等、市と随時連携を取られているとのことです。その他、クラブのホームページや SNS を活用し、オープンな情報発信にも努められていました。

■その他

　今後はクラブの運営財源確保のため、行政や一般企業からの業務委託、施設の指定管理委託の受託に向けて、定期教室の拡充やプログラムの PR 活動、会員及び地域住民の満足度向上のためのニーズ調査に継続して取り組まれているそうです。

　クラブの課題として、各教室の平日や日中の開催、定期開催のためのスタッフ確保が挙げられており、更なる人材確保のため、市の体育協会との友好関係構築に努めているとのことです。また、現在の会員層では比較的参加が少ない、働き盛りの年齢層や健康意識の高い高齢者のニーズに合わせた事業の運営や、男性が興味をもって参加できる事業の展開も目指しているそうです。

■所感

　クラブでは、助成金受給年限終了後のクラブ運営を考慮した長期計画が立てられており、財源を確保していくために会費及び参加費の調整にも取り組まれていました。計画達成に向けて各教室の内容を充実させるためにも、スタッフ・指導者の不足解消等に助成金が活用されることを期待しています。

（令和 6 年 9 月 12 日往査）

（写真）バドミントン教室の様子	
	